

大津市の散歩中の事故について

5月8日水曜日に滋賀県大津市で、散歩中だった園児らの列に車が突っ込み園児2人が亡くなった事故。

私達も同じ保育士として身につまされる思いでニュースを見ていました。

今回の事故に関連して、事故のあった道路についてや、日本の道路事情、そして交通事故についてなどのニュースを目にすることが多かったです。その中で交通事故の鑑定、分析者などは『ガードレールや横断歩道の手前に車止めとなるポールの設置があれば、車が歩道に侵入できなくなるので今回のような事故は防げたかもしれない』と話すニュースを何度か耳にしました。日本は先進国の中でも『歩行者が死亡する交通事故』の件数が多い国。それは歩行者よりも車を優先した道路づくりがされてきたことが原因と言われています。

歩行者の死亡事故を防ぐために、すぐに全ての道路が対応することは難しいと思いますが、子ども達が安全に散歩に行けるように、そしてこのような事故が繰り返されないためにも道路整備の見直しを強く願う思いで毎日のニュースを見ていました。

また、大津市の事故を受け、ツイッター上で「保育士さん ありがとう」などと引率していた保育士や保育の現場を励ます言葉がたくさん投稿されていました。この言葉を読ませていただいた時に、改めてとてもやりがいのある仕事だと痛感したとともに、日々あらゆる事を想定しながら散歩に行くよう、より一層の注意を払い、子ども達の安全確保に努めなければと感じました。

私達の園でも、改めて散歩中の歩く場所、信号の待ち方、歩いている最中の職員のつき方、横断歩道を待つ際、渡る際の職員の役割分担などを職員同士で話し合い共有する時間を設けたことで声の掛け合いなどが多くなりました。今後は園内研修などで、日々実際に散歩で行く公園までの道のりを職員のみで歩き、安全ルートや気をつける場所などを周知する取り組みを行っていきます。今回の事故をきっかけに防ぎようがないと思ったり、大丈夫であろうと思わず、また散歩を減らすのではなく、常に危険はどこで起こるか分からないということを考えて日々の保育を行っていきます。

今回の事故で亡くなったお子さんのご冥福と、怪我をされた園児や保育士の方の一日も早い回復を、お祈り申し上げます。

(宮本)